7 作動後の再生

7-1 再生するには

一度作動したヒットエアーシステムは、取扱店で〈メンテナンス サービス〉として、再生させる事をおすすめします。ごとに細分する セッテイング方法で、各自で再生する事は できます が、正しくセットしないで利用した場合、正常に作動しない場合があります。又、作動した際などに外傷等の異常が発生したものは再生できません。以上の点を十分考慮して お取り扱いください。

再生方法

異常有り
取扱店に持ち込み、メンテナンス チェックにより、再生可能か確認 してもらい指示を受ける

作動（展開）

異常無し
取扱店に持ち込み、必要な部品 （カートリッジボンベ等）を交換 して再生する

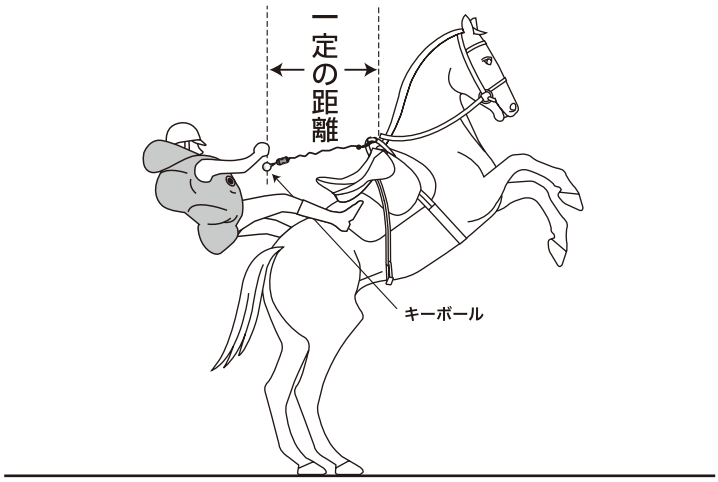
異常無し
各自で再生する
※未使用カートリッジボンベと付属の再生工具（セッテイングボルト、六角レンチ）が必要です

※附属品として六角レンチとセッテイングボルトが付いています

各自で再生するおおまかな手順

詳しくは次のページの「再生作業」を参照下さい

- 未使用カートリッジボンベを再生工具を準備します 〈P22〉1.参照
- キーボックスに工具を使ってキーボールをセットします 〈P22〉2～4.参照
- カートリッジボンベを外します 〈P23〉5.参照
- エアバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します 〈P23〉6.参照
- 未使用カートリッジボンベを取付けます 〈P25〉9.参照
- キーボックスのカバーを締めて完了です 〈P25〉10.参照



○馬と共に転倒した場合など、ヒットエアー付ジャケットが一定の距離を離れない場合は作動しません。膨張した気室以外の所は、衝撃緩和の効力はありません。

○ヒットエアー付ジャケットを着用し、馬から離れる際に、ワンタッチリリースの取り外しを怠り、一定の距離離れ、約20kg～30kgの力（ 4-3 キーボックス〈P12〉参照）がかかった場合も、キーボールが抜け、作動してしまいます。誤操作に十分注意して下さい。
又、誤操作防止のためワンタッチリリースの脱着は、馬にまたがった状態で行って下さい。

○一度作動したカートリッジボンベは使用できません。新しいものとお取り替え下さい。

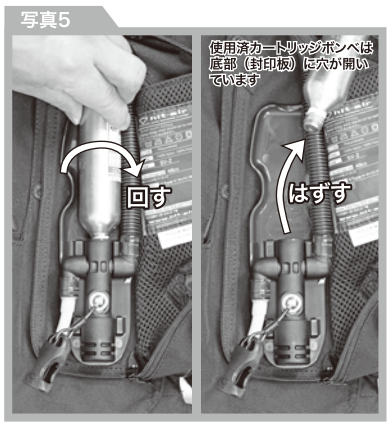
7-2 キーボックスの再生作業

5.使用済カートリッジボンベを回してキーボックスから外ます。(写真5)

カートリッジボンベの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジボンベを写真２の様に回しながらキーボックスから外します。

カートリッジボンベのシールの指示方向に外します

写真5



6.エアバッグ(気室)からエアを抜きます(写真6)

気室からガスを抜く作業を行います。突起物などの無い平坦な場所にヒットエアージャケットを広げて各気室部分を押すようにしてガスを抜き出して下さい。
丸めたり、畳んだりする行為はおやめ下さい、内部部品に損傷を与える場合があります。根気よく、ほぼ完全にガスが抜けるまで行って下さい。

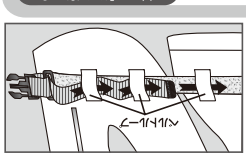
写真6

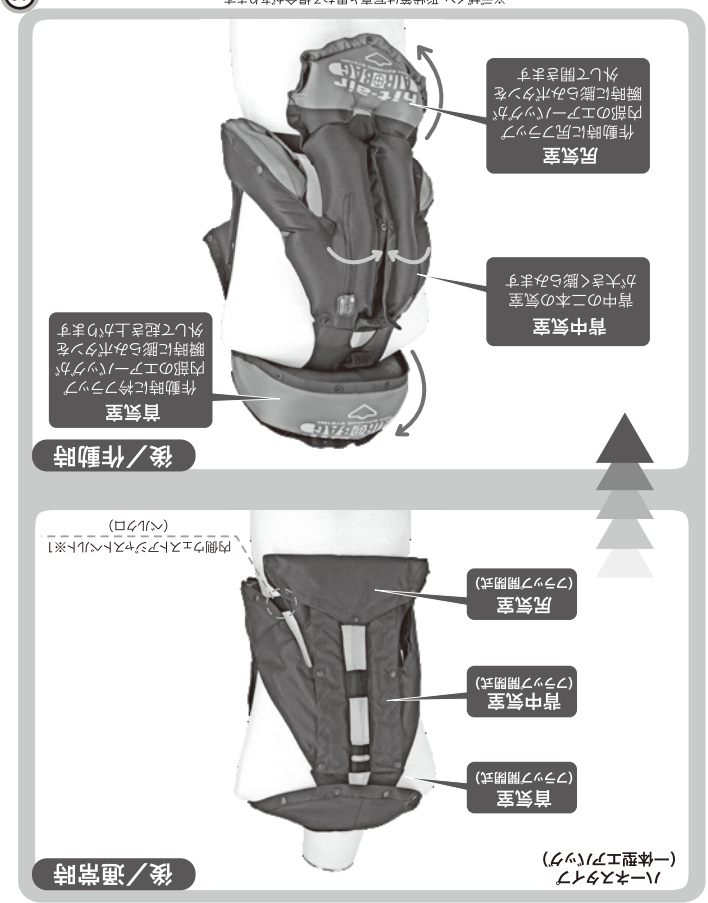
注意 ⚠

この作業が完全に行われない場合は各気室部分の収納がうまく出来なくなります。また、エアバッグの誤作動の恐れがあります。

へページ次

※1）一体型エアバッグ・ハーネスタイプは、ブシャフトベルトでクエストバッ調節の際、必ずベルトループに通してから使用下さい。ベルトループを通さないで使用し作動した場合に、ベルトがかけてエアバッグ本来の機能（衝撃緩和）を損なう恐れがあります。
＊モデルによってベルトループの数が異なる場合があります





※デザイン、形状等は写真と異なる場合があります